

☆☆ 白川・緑川水質保全協議会ニュース ☆☆

No54

H26.6.4

白川・緑川の水を守るため 80名参加 『水質事故対策訓練』を実施

発信元

白川・緑川水質保全協議会

事務局 熊本河川国道事務所 河川管理課

白川・緑川水質保全協議会では、河川への油流出事故等が発生した場合の**対策手順再確認のため**、6月4日(水)午後、水質事故対策訓練を実施しました。

当日は、御船町の御船川 小坂橋下流において、熊本県関係機関・流域市町村・消防関係機関・国土交通省職員**約80名**が参加し、消防関係者の指導のもと、真剣な訓練を行いました。



協議会幹事長
鶴木副所長あいさつ



総勢 80名の参加者



対策本部長
上益城消防組合消防本部
米田上益城消防署長



末端の処理うちの班が一番よかばい！！

オイルフェンス 3本 設置

御船町の事業所からA重油が御船川に流出したという想定で、訓練を行いました。まず、油処理剤についての研修を聞き、消防の方の指導でロープ結びの練習をして、その後、3班に分かれてオイルフェンスを設置し、オイルマットで油を回収する訓練を行いました。あいにくの雨でしたが、参加者は積極的に訓練に参加し、重いオイルフェンスを協力して設置しました。今後、実際に油流出事故がおこった際に対応できるよう、大変有意義な訓練ができました。

消防の皆さんの指導で、ロープ結策研修をしました。

もやい結び..
むずかしい..





発射銃を使って、対岸にロープを渡す



協力して、オイルフェンスを設置



ボートを使って
オイルマットを
まき、油を回収
します。



油処理剤についての研修



油処理剤(中和剤)を使用すると、水と分離していた油が、川の流れてかくはんされて、小さな粒になり、魚の生息域まで汚染することになります。
油は吸着処理しなければなりません。

水面にはなくなったように見える油(ピンクの液)も..



かき混ぜると(川の流れてに相当)川全体にかくはんすることになる



平成26年6月5日 熊本日日新聞に掲載



オイルフェンスの設置作業をする水質事故対策訓練の参加者=御船町

油漏れ事故 食い止める
御船川で訓練
白川・緑川水質保全協議会は4日、緑川支流の御船川に架かる小や県、流域自治体など同協議会は国土交通省熊本河川国道事務所

坂橋(御船町小坂)付近で油漏れなどの水質事故が起きた場合の訓練をした。
重油200リットルが川に流出したとの想定で実施。参加者は油が流れるのを食い止めるためのオイルフェンスを準備したり、水面にスポンジ状の吸着マットを敷いたりする作業をして、緊急時の手順を確認した。
同事務所によると、白川・緑川両川での水質事故は2013年度に9件発生。うち8件が油漏れだった。(池田祐介)

水質事故発生時には、被害が最小限で済むよう迅速・的確な行動をお願いします。

事務局までいろいろな情報をお寄せください

宛先: mashita-s8910@qsr.mlit.go.jp

問い合わせ : 白川・緑川水質保全協議会 事務局 熊本河川国道事務所 河川管理課
担当 : 河川管理課 益田(TEL096-382-1136)

白川・緑川水系内の市町村、県機関、消防機関からの情報をお待ちしています
【記事の詳細については、発信元にお問い合わせ下さい】